

事務事業名		がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8662	一般	6	1	2	がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H24年度～ 年度		根拠法令 条例等	がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費補助金交付要領					
	実施方法		直営		事業分類		融資・貸与事業				
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による出荷停止等及び天災により被害を受けた農漁業者に対し、借入金利子を補助して経営資金を融通することにより、経営の維持安定を図る。					実績なし						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					相談件数	件	1	1	2	2	2
					申請件数	件	0	0	1	1	1
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
農業者					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					市内の農家戸数	戸	3,549	3,549	3,549	3,549	3,549
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
農業経営の安定					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					利子補給を受けた農家数	人	0	0	1	1	1
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
利用集積を積極的に行ってもらう。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					農地貸借面積(公社保有面積)	ha	1,081.6	1,131.7	1,200.0	1,250.0	1,300.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円			28	28	28			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			29	29	29			
	事業費計(A)	千円	0	0	57	57	57			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
							補助金	57	補助金	57
	人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	2	2	20	20	20				
人件費計(B)	千円	8	8	79	79	79				
トータルコスト(A)+(B)	千円	8	8	136	136	136				

事務事業名	がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	---------------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による出荷停止等により損失を受けた農漁業者に対し、無利子で経営資金を融通することにより、経営の維持安定を図るため、平成23年4月に県が要領を定めた。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	現在もモニタリング調査が継続され、風評被害等はしばらく続くと考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	損失を受けた農漁業者の経営の維持安定を図ることは、担い手農家の育成・支援に結びつく。
	結びついている		
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	県のがんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費補助金交付要領に基づく事業であるため。
市が行わなければならない			
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	県のがんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費補助金交付要領に基づく事業であるため。	
妥当である			
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	制度のPR等を実施し、周知を図ることは可能。
	成果向上余地がない		
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
類似事務事業はない	理由・改善案		
* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	県のがんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費補助金交付要領に基づく事業であるため。
	削減の余地はない		
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	利子補給事業であり、受益者負担を求める性質のものではない。
	受益者負担を求める必要がない		
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	県の取扱が終了となれば、その償還期間(最大5年)の終了により本事業も終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			